



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



～忘れない8月1日。戦災都市長岡の平和の思いを語り継ぐ～

“戦争させない” 平和な明日を築く



7/18大きな市街図で被災地域を詳しく説明する近藤館長

長岡の戦災遺跡を案内
7月18日、婦人民主クラブの皆さんが長岡の戦災遺跡を巡る企画があり、長岡戦災資料館、長岡空襲中心

長岡空襲を悼む
1945年8月1日午後10時30分、アメリカ軍B-29爆撃機125機が長岡市中心部に飛来し、約925トン、16万3,500発の焼夷弾を投下、市街地の約8割が焼け、1,488人の市民が犠牲になりました。罹災戸数は1万1,986戸。長岡空襲は悲惨を極めました。

の皆さんが長岡の戦災遺跡を巡る企画があり、長岡戦災資料館、長岡空襲中心

点の碑（明治公園）、平和の森公園・平和像・被ばく青桐、平潟公園の戦災殉難者慰霊塔、模擬原子爆弾投下地点の碑を巡り、近藤信行館長から説明を受けました。
長岡の取り組みすゝい
田上町から参加の高橋さん「資料館をもっとじっくり見学したい」、中村さん「母は2歳の私を抱き上げて、あんなに赤く燃えていると教えてくれた」、湯沢の佐藤さん「長岡空襲で母は2歳の私を背負い、父は5歳の姉を抱き、6歳の長女は自分で走って逃げた。『背負つ



(左)平和像の前で遠藤れい子、(右)模擬原爆を説明する館長

て逃げるのが精一杯だった。戦争ほどむごいことはない」と聞かされて育った」、長野県栄村の杉浦さん「栄村で9条の会の活動している。8年前見学した狭い資料館が、広く充実した展示になり、長岡の平和へ強い思いを感じた」
平和の大切さこれからも伝えたい
皆さん、戦災資料館にぜひ足を運んでね。



「政府にとって不都合な情報は伝えない」と説明書き(資料館展示)

遠藤れい子の笑顔でファイト

ほしい」、「来年度から介護保険

7月23日、新町コミセンで市政報告会が開かれ、はっとり耕一市議、遠藤れい子が市政・県政について報告しました。
参加された皆さんからは、「補聴器補助は74歳の制限をなくしてほしい」、「高齢になって外出するのが辛い。バスの本数も半減し、買い物や病院に通う手立てがない。足を確保してほしい」、「来年度から介護保険

市政報告会で「要望」がたくさん出されました



(正面左)遠藤れい子、(右)服部耕一市議

料は上げないでほしい」など、意見と要望がたくさん出されました。
活発な意見交換で、みんなで要望を声に出して、行動しようとなりました。